

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立若松台小学校  
校長 藤木 敦史

中学校区におけるめざす子ども像

## 自己を高めようと努力し、自ら学び続ける子 ～教科教育・総合の学習の時間の中で「探究」と「対話」する活動を通して～

令和8年度 重点目標 学校教育目標 「一人ひとりをかけがえのない人として尊重し合い、総合的な学力を身につけるため、自ら学び続ける子」の育成

令和8年度 重点目標

### 自信を持って主体的に学習や活動に取り組む子どもの育成

～友だちと対話し、気づいたことを伝える活動を通して～

- ①「なぜ」②「どうかな」③「やってみよう」④「伝えたい」⑤「つながり合う」

「確かな学び」の現状

「読解力の育成」に取り組み、資料を用いた説明文の読み取りやノート指導に力を入れてはいるが、各種学力調査では、資料を結びつけ、自分の意見を表現することにはまだ課題がある。そこで、向上に取り組んでいる「読解力」を活用し、相手のことを考え、自分の考えを伝える「対話」ができる子どもたちの育成をめざします。また、「対話」をする中で、自分の思いや友だち・家族・地域・社会の思いや願いに気づき、つばかり合うことや伝えることの必要性を感じながら行動できるようになるために、生活・総合的な学習の時間を中心に社会に参画するカリキュラムを設定し、自信を持って主体的に学習に取り組むための実践的な能力の獲得をめざします。

「豊かな心・健やかな体」の現状

アンケート調査より、学習や対人関係に起因した不登校傾向にある児童の状況が増えてきているが、本年度も引き続き児童と関わる時間を確保したり、学習において交流を取り入れる設定や異学年・同学年での交流など他者を意識しつながら仲間づくりの取組を進めていく。また、総合的な学習において自分たちの町を意識した取組を系統的に進めていることで、地域との関わりに関心をもつ児童の割合が増加傾向にあるため、引き続き取り組んでいく。体を動かすことが好きな児童も多く、休み時間には運動場で元気に遊ぶ姿が多くみられる。道徳教育、国際理解教育を推進していくことを軸として、人とつながりを大切に、多様性を認めあい、人権が尊重されていることを実感できるよう、学校全体で人権教育に取り組む。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学びの基礎 力の向上	基礎基本の学力を育成し、学ぶことを楽しみ、自ら学ぶ子どもの育成	●★児童の読解力の育成に努め、「主体的で対話的で深い学び」をし、授業改善に取り組む。朝学習や自主学習ノートを活用し家庭での学習習慣の定着を図る、読書キングの表彰を実施し、さらに読書活動の充実に取り組む。	教科研修と年3回の研究授業、2年生以上自主学習ノートの活用 読書活動(朝読と図書貸出冊数、アンケート)の変容	ノートと貸出冊数・アンケート	年度末			
	総合的な学力向上	個別最適な学び、協働的な学びを追求し、総合的な学力を身に付けた子どもの育成	●★さまざまな授業の中で学びのコンパスなど探究的な学びを推進し、総合的な学力の向上を進める。学校群内の学校との交流や地域学習等の総合的な学習に取り組む中で、「対話」の必要性を感じ、子どもたちが自ら社会に参画できるカリキュラムを設定する。 ★外国語科、理科、音楽科、家庭科等での高学年を中心に教科担任制を実施し、学校群4校や就学前施設と連携しつつ小中9年間を見通した系統的な指導を行う。	公開授業・学習発表の実施 アンケート肯定率や活用力の比較	学力調査・学校アンケート	年度末			
		ICTを活用した学習を進め、情報活用できる子どもの育成	学習者用端末を教科、総合的な学習や家庭学習において活用し、情報モラル・情報活用能力を向上させる。また、学習者用端末を活用し、「探究」と「社会参画」する授業づくりに取り組む。	自校教員、若松台中、上神谷小、教員による授業の実施と、共同授業研究や合同研修での連携	実施状況・アンケート	年度末			
豊かな心・健やかな体	生活習慣の確立と 自尊感情の育成	さまざまな体験を通して、人とのつながりや思いを知り、自他ともに大切にすることを育む	特別の教科道徳の授業を要とし、他の教科等との関連を図りながら道徳教育・人権教育の充実を図る。 ●いじめ事案の早期発見・組織的な対応を実施し、早期解決に努める。人権教育、特別支援教育、集団づくり、なかよしタイム等の取組を通して、自他を大切にすることを育む	道徳の教科書や副読本の効果的な活用と公開授業の実施	アンケート	年度末			
		健康・安全に関する認識を持ち、体力向上に努める子どもの育成	食育・防災を含む安全教育を通して、健康で安全な生活ができる力を育てる。 行事や屋外での遊び等を通して、体を動かすことの楽しさを体感させ、体育授業に積極的に取り組む児童を育む	健康や安全にかかわる取組状況。その関係のアンケートの肯定率	アンケート	年度末			
				「体育科授業に積極的に取り組む」アンケート肯定率90%以上	アンケート調査結果	年度末			
独自の課題	豊かさに 違いを	ちがいを認め合い、互いに助け合うことのできる子どもの育成	外国にルーツにある児童を含めすべての児童が様々な国の文化や人々を理解し尊重する多文化共生の心情を育てる国際理解教育を推進する。日本語指導教員を中心に、全校朝礼などを活用し、多文化共生の啓発に努める。	国際理解教育の取組の内容と回数、日本語指導の状況。	実践報告 公開授業	年度末			
	若松台学校群	若松台学校群として取り組み、児童と教職員がともに輝く学校を構築する	●★学校群での取組を進め、カリキュラムマネジメントを充実させ、児童の「交流」を意識した教育活動や働き方改革に伴う授業時数の平準化、行事の精選を行い、効果的な教育活動を実践する。また、地域の行事や人々と積極的にかかわり地域を愛する子どもの育成をめざす。	実施状況とアンケート	取組の検証とアンケート	年度末			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)